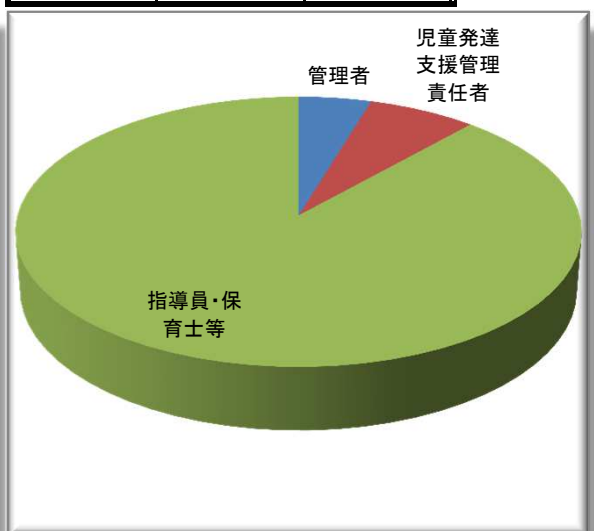
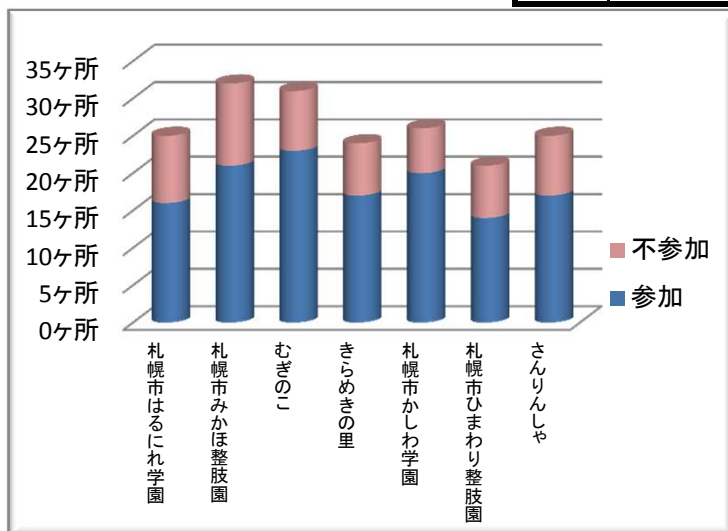


平成25年度第2回児童発達支援センター研修 集計結果

1 障害児通所支援事業所数及び参加者内訳

	対象事業所数	参加事業所数	参加割合	参加者内訳			参加者計
				管理者	児童発達支援管理責任者	指導員・保育士等	
札幌市はるにれ学園	25ヶ所	16ヶ所	64.0%	1人		34人	35人
札幌市みかほ整肢園	32ヶ所	21ヶ所	65.6%	2人	4人	27人	33人
むぎのこ児童発達支援センター	31ヶ所	23ヶ所	74.2%	1人	2人	28人	31人
きらめきの里	24ヶ所	17ヶ所	70.8%	1人	2人	26人	29人
札幌市かしわ学園	26ヶ所	20ヶ所	76.9%	3人	4人	27人	34人
札幌市ひまわり整肢園	21ヶ所	14ヶ所	66.7%	1人	1人	18人	20人
児童発達支援センターさんりんしゃ	25ヶ所	17ヶ所	68.0%	2人	1人	30人	33人
計	184ヶ所	128ヶ所	—	10人	15人	190人	215人
		平均	69.5%	4.7%	7.0%	88.4%	



2 関係機関の参加者数

	児童診療センター ^(※)	あさかけ生活支援センター	計
札幌市みかほ整肢園	1人	3人	4人
きらめきの里	2人		2人

※ 児童心療センターは講師以外の参加者数

3 外部講師

児童心療センター ……札幌市はるにれ学園、札幌市みかほ整肢園、札幌市かしわ学園

4 グループワーク

(1) グループ編成数等

	グループ数	1グループ平均	他事業所ファシリテーター
札幌市はるにれ学園	7	6.0人	に・こ・ぱ、チャオⅡ
札幌市みかほ整肢園	6	7.3人	
むぎのこ児童発達支援センター	5	6.2人	
きらめきの里	5	6.2人	
札幌市かしわ学園	5	7.8人	
札幌市ひまわり整肢園	3	6.6人	
児童発達支援センターさんりんしゃ	5	7.0人	ヴェルデ新発寒、アズーリ星置
平均	5.1	6.7人	

(2) 内容

各事業所で行っている遊びの内容を紹介し、意見交換を行う。

5 参加者の意見

(1) 講義について

- 噛み砕いた講義で分かりやすかった。仕事を通して子どもを見守っていきたい。
- 自己肯定感を高めることが最も重要だと感じた。
- 子は1人の大切な存在というのが印象的だった。
- 講義が分かりやすく、子どもへの関わり方が学べた。

(2) グループワークについて

- 楽しむだけではなく、注目させることによる気持ちの切替え、認知の効果など意図的に遊びを取り入れていることがわかった。
- 他の事業所と接することができてよかった。
- 絵本の読み方やリズムを楽しく学ぶことができた。今後役に立てたい。
- 同じ手遊びでも事業所によって違うのが印象的だった。
- リズムでも音楽を使ったり、ピアノを使ったりと色々体験できてよかった。
- 紙芝居の読み方で、子ども達に次の展開を期待させるように読むことの大切さが学べ
- 他の事業所の療育内容がわかり、交流が持ちやすかった。
- 今後も療育内容の情報交換ができる研修会が良い。

(3) 全体を通して

- 取り入れられるものは取り入れたい。
- 忘れかけていたものを思い出した。
- 個別支援計画を作る上で参考になった。
- 日々は流れるように過ぎてしまうが、このような研修会があると立ち止まって療育の原点を考えることができると良い。
- これからの療育のスキルアップと今後の事業所間の交流に繋がると良い。
- グループワークの時間がもっと欲しかった。